

平成30年10月5日

平成30年度 第1回「学校関係者評価委員会」中間報告

1 概要

(1) 日時 10月5日(金) 15時30分～17時00分

(2) 場所 広島城北中・高等学校 第2会議室

(3) 出席者

学校関係者評価委員	三田 戸坂城山小学校校長
	丹 戸坂中学校校長
	佐伯 同窓会長
	藤井 P T A会長(欠席)
教職員	岩本 校長
	藤田 副校長
	中川 教頭
	角保 総務部長
	大下 教務部長
	村上 進路指導部長
	勝間 生徒部長
	堀江 入試広報部長
	ブランチ 国際部長

2 内容

校長挨拶及び出席者の紹介後、各部から学校経営計画に沿って平成30年度の実践内容について、その進捗状況を中心に中間報告を行った。

(1) 生徒部より

- 面接週間や手帳等を活用した「4点固定」の生活習慣確立について
- 校内における右側通行の効果や挨拶のできる集団について
- 中・高合同の体育祭に向け、高校だけの第3回目を開催し、中・高合同開催に向けた進捗状況について

(2) 進路指導部より

- 大学から先生をお招きして専門の講義をいただく「大学出張生講義」の

実施内容及び参加した生徒の感想等について

- 進路意識の涵養と学習意欲の関わりについて

(3) 入試広報部より

- 新たな取組である定期的に発行する刊行物について
- 各種説明会の参加状況及び内容について
- 中学校・塾との連携状況について

(4) 国際部より

- 海外短期研修・海外修学旅行など、グランドデザインによる18プランの進捗状況について
- グローバル・キャリア・プログラムにおける事前学習の状況について
- 国際ニューズレターの発行状況について

(5) 総務部より

- 相談体制の確立に向けた取組について
- カウンセラーと学年会独自の連携に関わる課題について
- 帰属意識を高める学校行事の在り方について

(6) 教務部より

- 「評価」にポイントを置いたシラバス作成の進捗状況について
- 標準単位数に応じた年間標準授業時数の確保について
- 授業改善に向けた相互授業参観の取り組み状況について
- 教育改革を念頭においた校内研修会の内容及び状況について

3 評価委員からの意見及び助言

- ① これまで自己評価シートの作成が目標のような印象があったが、そうではなくて具体的な取り組みとその結果について言及されていることが分かる内容になっている。
- ② すべての分掌を一度に紹介するのではなく、今少し掘り下げていくために各分掌ごとに質問や意見交換する方式でお願いしたい。
- ③ 自分の経験からもホスト・ファミリーの募集がなかなかうまくいかなかったことがあるので、情報発信をしっかりと行って海外との相互交流がうまく進むよう配慮をお願いしたい。
- ④ 帰属意識という言葉が使われているが、何をもって帰属意識が高い、低いという評価をするのか。

- ⑤ 今年は豪雨災害や台風の影響で学校が休みになることが少なからずあったと思うが、そうした場合の判断となる基準や規定はあるのか。
- ⑥ そうした場合に学校からの連絡が遅れて、生徒が危険な状況に置かれないよう万全の配慮をお願いしたい。
- ⑦ 基本的な生活習慣がグローバル・マインドのカテゴリーに入っているが、これは別のカテゴリーで評価すべきだと思う。
- ⑧ 海外研修の参加人数やボランティア活動への参加人数だけで評価するのではなく、そのことで生徒にどのような力が付いたのかを評価できるような指導内容、子どもの感想などがあるほうがより具体性があり分かりやすくなると思う。
- ⑨ 項目の整理と子どもの意識がどう変わったか、ということが分かるような工夫があると良いと思う。
- ⑩ 中・高合同運動会の意義をどのようにとらえているのか。
- ⑪ 中・高の交流の場は普段の生活の中ではあまりないのか。
- ⑫ 入試説明会のやり方が工夫をされていて、今年は特に評判が良かったと聞いている。
- ⑬ 文化祭にも参加させてもらったが、子どもたちの活発な様子がとても印象に残った。
- ⑭ こどもたちの発言内容、回数、変わり方などが増える、といった事柄が見える工夫ができないだろうか。
- ⑮ 公開授業等も積極的に開催いただいて、その内容が保護者にも公開されるようなものを考えて欲しい。

